



3・4年生御殿場集団宿泊体験活動

部長代理 勝木 茂

岩瀬キャンパスの銀杏の葉も鮮やかに色づき、秋空が高く澄み渡る季節となりました。体育の授業中や休み時間には、グラウンドから子どもたちの元気な声が聞こえてきます。秋は、スポーツや読書をはじめ様々な学習に最適の季節だと思います。心も身体ものびのびと豊かに育ってほしいものです。

さて、10月3日(水)～5日(金)御殿場にあります「国立中央青少年交流の家」を宿泊場所として、3年生は1泊2日(10月4日まで)4年生は2泊3日の集団宿泊体験活動を行いました。この宿泊体験活動は、「体験」の充実と「自尊感情」の育成、「規範意識」の向上を主な目的とし、自然の中での集団宿泊体験を通して、豊かな成長に欠かせない人間関係づくりや社会性を育成することをめざし、プログラム、活動内容(教育課程)の見直しと改善を図り、実施場所を変更し今年度より実施することとしたものです。

1日目は、3・4年生同時に初等部より観光バスにて出発し、大磯の海岸で地引網の体験をしました。網の両端の太くて長い網の片方を3年生、もう片方を4年生が力を合わせて引きます。結構な力が必要ですが、みんなで協力して引き上げることができました。たくさんの青魚、しらす、そしてサメ(体長約50cm)も網にかかっていました。それらの魚をみんなでよく観察した後、漁師さんたちがフライにしてくれた新鮮な鰯を味わいました。わたしも食べましたが、大きな海を目の前に見ながらみんなで食べる鰯フライは格別でした。

その後、バスに乗り、御殿場にある「国立中央青少年交流の家」に向かいました。入所式実施後、3・4年生合同のグループ(1グループ7、8名)にて「所内(敷地内)ビジュアルオリエンテーリング」を行いました。これは、問題シートにある画像をヒントに、所内にある建物や設置物を探すオリエンテーリングです。所内といっても、この施設は全体で178,174㎡(東京ドームの3.8倍)の広さがあり、問題シートにある全てを見付けることはかなり困難です。それでもチーム

で相談し、残り時間や合計ポイントを考えながら1つでも多く見付けだそうと協力している姿をたくさん見ることができました。バイキング形式の夕食を食べた後、キャンプファイヤーを行い、入浴後就寝となりました。



2日目、3年生は朝食後、荷物の整理をし、次に使う人たちが気持ちよく使えるよう宿泊場所の清掃を行いました。その後、退所式を行い、県立21世紀の森に行き、自分たちで木材を削り箸づくり等の活動を行い、午後に帰校しました。4年生は、午前中は「防災ラリー」午後は、日本茶インストラクター協会の方々による「お茶講座」、夜は「ナイトハイク」を行い、入浴後就寝となりました。わたしは、男子児童と一緒に入浴しましたが、昨年よりお風呂でのマナーもぐんとよくなりました。湯船で楽しくいろいろな会話ができました。

3日目、次に使う人のため、お世話になった交流の家への感謝の気持ちを込めて、雑巾がけも含めた清掃を行いました。退所式後、最後のプログラムである「野鳥の森ウォークラリー」と「西湖こうもり穴探検」を行い、河口湖の辺で昼食の「ほうとう」を食べて、帰校しました。

この体験活動を通して、3年生にも4年生にもそれぞれの成長を感じました。今後、これらを日常の初等部での生活や学習に生かしていきたいと感じています。(この宿泊体験の様子は、初等部ホームページの「初等部だより」にも掲載しております。ご覧いただければ幸いです。)